

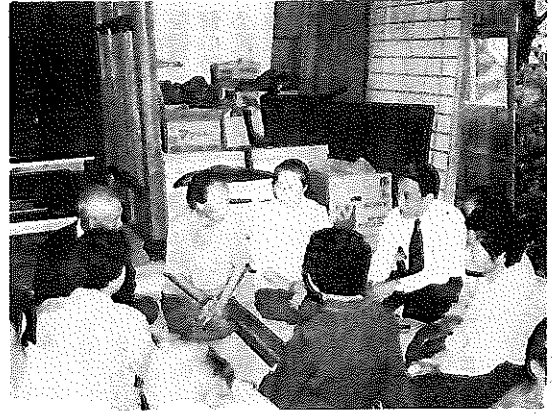
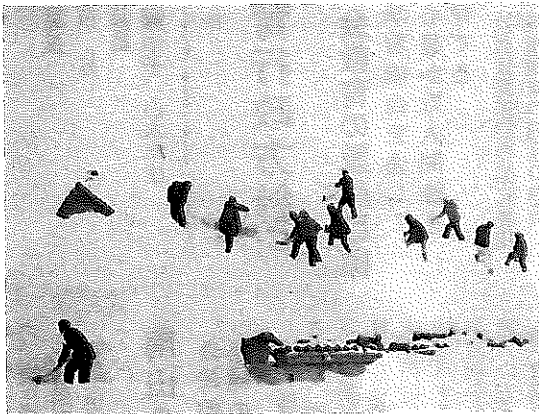
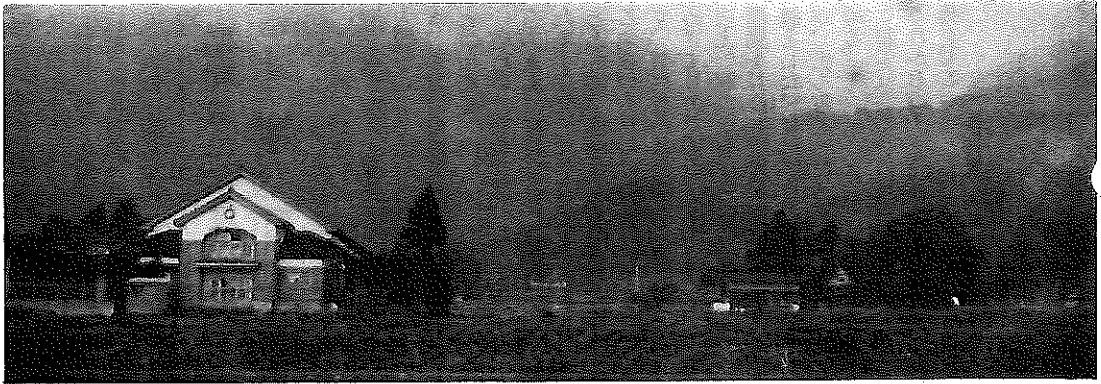
編集 南山見公民館
発行

昭和52年10月1日発行

No. 1

富山県東砺波郡井波町

女乙八



三十周年を 迎えるにあたり

町立南山見公民館長
前川 裕

昭和二十二年南山見公民館が発足して以来三十年幾多の変遷を経た中で教養をたかめ、文化をたかめ、農村振興の原動力として活動し今日に至って居りますことは、ひとえに先輩各位の御努力のたまものと心から敬意を表する次第で御座居ます。私共は時勢の進展に適合した社会教育を通して、明るく豊かで住みよい郷土づくりに最善の努力を致す所存で御座居ます。この記念すべき年に、多年の念願が叶って、ここに町立南山見公民館の建設が町当局の御配慮により、九月末起工し、年内に完工の運びに至ります事は誠に意義深いことと関係者はもとより地区あげて慶賀にたえないところであります。併せてグラウンドの造成、農村公園の併設等、社会教育のセンターとして各種団体がここに集まり研修し、人間形成のささえになる事を確信してやみません。

故郷を後にして益々御活躍の皆様近況を御報告出来ますことも年二回この館報を発行し、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。次第で御座居ます。

つたない一頁をお届けするに当り御挨拶申し上げます。

公民館建設促進委員会発足する

永い間の夢であった公民館の建設が実現へと一歩を踏み入れる事となった。そこで地区住民にとっては一日も早く館をという願いをもって早速四月二日地区自治振興会、公民館の役員が相寄り盛大に公民館建設促進委員会を発足しました。

役員は次のとおり

会長 箭原武平(自治振興会長)

副会長 前川順作(土政理事長)

理事 蓮田久信(区長会々長)

理事

- 前川信源、前田幸作、山崎静江、田村玉喜、山崎乙次郎、前川よ志子、朝倉三郎、前川正彦、蓮田栄作、箭原久信、須川利夫、沢田久夫、山本助次、小橋文彦、高倉一夫、須川武夫、高瀬浄泉、前川正男、武田久太郎、田村一子、山本保彦、岩崎宗夫、朝倉一夫、倉島清時、前川昭子

監事

細川 茂、朝倉和夫、高橋豊

常任委員

- 山田憲治、田中昭文、山本彰、青山勝豊、須川 勲、植生慶夫、池田外雄、山本敬信、箭

横井吉蔵 宮川文夫、斎藤貞夫
事務局長 前川 裕
事務局長 広瀬幸子、山本幸雄

昭和五十二年

井波町社会教育行政方針

生涯教育の理念は、人間が生涯を通じて自己啓発につとめ、人間として主体的かつ豊かに生き、お互いの連帯感を高めることが出来る。

当町社会教育は、この本旨をふまえ、町民ひとりひとりがたえず自発的な学習をすすめるとともに、豊かなるおいのある地域づくりに、積極的につくす、個性豊かな人間性の育成をめざすものである。本年度は、以上の観点から従来の社会教育活動を見直し、町民の願いを基調とした、自己学習、相互教育が、広く町民へ浸透するよう務める。

特に社会教育の充実を図り、これからの活用の万全を期し活動を図る。



社会教育の重点目標

学習機会を通して心豊かな人間性を育てる

- 一、社会教育体制の拡充強化
 - 各種団体の相互の連携
 - 社会教育関係者の研修
- 二、各年令層に応じた学習機会の拡大と充実
 - 町民の願いをくみ入れた学習内容、方法の改善
 - 視聴覚教材を媒体とした学習の効率化
- 三、公民館活動の充実と社会教育施設の拡充
 - 町民の暮らしに結びついた公民館活動と運営
- 四、社会教育関係者の研修
 - 指導者の育成
 - ボランティア活動の啓発
- 五、町民一人一人スポーツの推進

○社会体育団体への徹底
六、文化財の保護顕彰、芸術文化活動振興
○民俗資料館の利用

南山見公民館

公民館活動と組織の現況

公民館活動の一層の振興を図るため、昨年四月以来、今年も県教育委員会から研究委嘱をうけ、高令者を対象に「視聴覚媒体を利用し学習効果を高めるにはどうするか」をテーマとして学習会を目下実施中である。又婦人の方々は婦人学級、児童クラブ育成会とは親と子の体力づくり教室にと取り組んでいる。以上述べたことと分る様に公民館の傘下に各種団体を容れ毎月五日に公民館運営審議委員会を行って運営、行事について協議をし、館長以下運営審議委員一同非常な熱意をもってこれにあたり活動の充実を図る様努力しております。

昭和五十二年

事業計画

- 四月 環境美化運動実施
- 六月 高令者学習会
- 環境美化運動実施
- 婦人学級

七月 高令者学習会 二回

環境美化運動実施

婦人学級

体力づくり教室 二回

高令者学習会 二回

環境美化運動実施

盆踊り大会

体力づくり教室 三回

高令者学習会 一回

町民体育祭参加

婦人学級

高令者学習会 二回

公民館講座

婦人学級

高令者学習会 一回

町政懇談会

環境美化運動

体力づくり教室

婦人学級

婦人学級

この他、毎月五日に運営審議委員会の月例会を開催して公民館活動を進めています。

公民館委員会の紹介

館長

前川 裕

運営審議委員

須川利夫(町議) 沢田久夫

(町議) 山本助次(町議) 高瀬浄泉(教育委員) 朝倉三郎

(民生委員) 山本保彦(青年

昭和51年度決算及び昭和52年度予算

収 入		支 出			
科 目	51年決算額	52年予算額	科 目	51年決算額	52年予算額
交 付 金	211,000	235,000	運 営 費	166,504	165,000
助 成 金	108,000	110,000	1) 会 議 費	29,865	25,000
管 理 費	30,000	40,000	2) 報 酬 費	35,000	35,000
事 業 賦 課 金	435,400	400,000	3) 旅 費	3,000	5,000
寄 贈 金	71,000	70,000	4) 需 要 費	44,469	45,000
雑 収 金	6,859	20,000	5) 諸 費	54,170	55,000
			事 業 費	685,201	710,000
			1) 事 業 費	605,201	610,000
			2) 委 託 費	80,000	80,000
			3) 予 備 費	-	20,000
計	862,259	875,000	計	854,705	875,000

団 田村一子(婦人会) 前川
 正男(町内会長) 朝倉一夫
 (学識経験) 広瀬幸子(学識経
 験) 武田久太郎(老人クラブ)
 岩崎宗夫(児童クラブ育成会)
 朝倉和夫(中学校PTA) 倉
 嶋清時(小学校PTA) 前川
 昭子(母親クラブ)
 主 事
 山 本 幸 雄

自治振興会 に筋金入る

南山見地区自治振興会長
箭原武平

御存知の通り南山見地区住民
 相互の連絡を密にし自治振興を
 はかり地域社会の発展に寄与す
 ることを目的としてその達成の
 ため
 一、自治振興をはかるための研
 究調査
 二、各種団体機関等の連絡調整
 及び援助
 三、県郡町との連携活動
 四、その他自治振興上必要とす
 る事業等
 の実施運営について協議決定し
 その実現をはかり事業執行状況
 の促進のささえとを目標に
 活動をすすめたいと考えて、ま
 ず昭和五十二年度として事業予
 算の確保に伴い重点的に
 1. 県圃場整備事業並に旅川上
 流排水事業の促進方依頼
 2. 南山見地区公民館建設実現
 と工事の促進
 3. 農道整備路盤改良の完了
 4. 町道西廻り幹線舗装事業の
 完了
 5. 八乙女林道取付林道側溝整
 備
 6. 丸山線早期完成
 7. 林道事業計画促進
 以上のほかに住民福祉の向上の

ため

- (1) 児童クラブ、保育所、青年
 団、婦人会、老人クラブの活
 動を円滑に充実を期するため
 に潤滑油の役割につとめたい
- (2) 生活環境の整備
 保健衛生及びきれいな町造
 り町道改良舗装の早期実現を
 はかる活動
- (3) 地域産業の充実に協力する
 こと

以上について町当局及び町議関
 係と深く連絡をとり乍目的達成
 を期し振興計画実現遂行をはか
 りたいと地区みなさまと共に今
 後一層活動を続けますので何卒
 御協力のほどお願い致します。

青年団活動 の現況

団長 山本保彦

我が、南山見青年団では、年
 々団員の減少の傾向があるなか
 で、いったいどれ程の活動が出
 来、果たしてどれ程の効果が得
 られるのであるかという不安
 の中から出発し、しかしながら
 春から先ず団員間の親睦、協調
 、体力の向上を前提に各種競技
 大会及び練習と、その競技結果
 は振わなかつたまでも、個人的
 には郡体、県体に出場するなど
 団員それぞれが皆一生懸命に頑
 張ったと考えています。また夏

場に入っては害虫駆除で皆汗
 と農業にまみれて真っ黒になり
 ながらも、青年団の価値はこの
 時とばかりによくやりました。
 今後も納涼盆踊り大会や青年議
 会、交通安全、美化運動等を通
 して、地域の為にいくらかでも
 喜んでもらえるような青年団の
 活動をと、団をはじめ、団員各
 自考えて居りますので、何卒住
 民皆様の御協力を御願ひ致した
 いと思っております。

行 事 計 画

四月	新入団員歓迎会	文化部
五月	機関紙発行	情宣部
五月	連青各大会練習	体育部
六月	連青各大会	体育部
六月	機関紙発行	情宣部
七月	地区一斉防除	文化部
七月	キャンプ大会	文化部
八月	南山見夕べの集	文化部
九月	機関紙発行	情宣部
九月	お茶の会	女子部
十月	お茶の会	女子部
十一月	国内研修	文化部
十一月	料理教室	女子部
十二月	ダンスパーティー	文化部
十二月	機関紙発行	情宣部
一月	成人の集い	文化部
一月	機関紙発行	情宣部
二月	スキー大会	情宣部
三月	定期総会	情宣部
三月	機関紙発行	情宣部

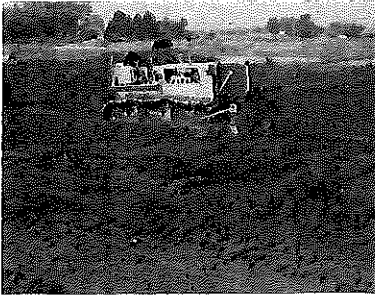
県営南山見地区ほ場整備事業すすむ

土故事務長 山本 助次

昭和四七年より本地区内を流れる一級河川即ち旅川上流排水事業の計画が持ち上がり、圃場整備事業と同時に施工する事により、その事業効果を更に高めると言う事で、再圃場整備事業を県営で実施する事になった。

此の度の事業計画は三〇アール区画で用排水を分離し排水は管排水とし、地下埋設とするモデル的な工法になっており総事業費は一〇億一千万円で、造成される道路は二五、六〇〇米で水路は四六、九〇〇米、整備される圃場は二一八haに及び大事業であります。

御承知の通り当地区は大正、昭和初期に耕地整理事業により一区画八一〇〇区画に整備された県下でも稀に見る先進地である。



ある。当時は「人の肩」と「もっこ」のみによる大事業の完成であり農業に対する情熱と郷土を愛する熱意の現れに外ならないのであります。

今ここで再区画整備事業により更に充実した生産基盤に対応して高能率集団営農推進対策事業を取り入れ、大型機械の導入を計り一環した稲作体系を確立し、営農経営の安定を目指すと同時に現在井波町として集絡環境の基盤を一体的整備する為、農村総合整備モデル事業により集絡道の舗装或いは防災事業等の計画があり特に意義深いものと思えます。

この様に考え合せて見る時その基盤である、圃場整備事業推進に当り先輩各位の築かれる立派な業績をより充実したものにする為に組合員各位の深い御理解と御指導の基に悔のない工事の推進を計りたいと思っておりますので宜敷御協力の程御願ひ致します。

昭和52年度事業内容

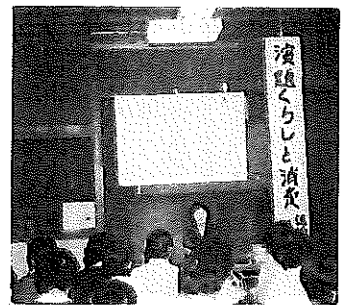
総事業費	49 ha
測量費	4,476,000 円
工事費	2,218,000 円
測量試験費	5,000,000 円
借債費	1,000,000 円
地代費	5,680,000 円
雑務費	2,097,600 円

生かそう!!

生活の智恵

学級長 広瀬 幸子

学習機会を通して、心豊かな人間性を育てるといふねらいのもとに昭和五十二年井波町南山見地区婦人学級が開講しました。本年度は各地区独自の学習に主体制をおき学級生募集、年間カリキュラムの作成、学習主題、内容、方法、視聴覚教材の



媒体、講師選定など広い分野でお互いの意見を交換しながら、地区の実態に応じた学習活動を展開しています。

南山見婦人学級
 90名
 14時間
 6月～2月迄
 南山見公民館

月日	学習課題内容	方法
6/17	くらしと消費 商品知識を身につける	フィルム 義議
7/15	幼児と家庭 幼児と家族の役割	フィルム 義議
10/23	郷土の歴史	見学
11/18	女子の生涯 現代女性の生き方	フィルム 講義
1/22	みんなのスポーツ 体操 フォークダンスゲーム	実技
2/17	本に親しむ 読書会	フィルム 読書

第一回の学習会は年令四十代～五十代が多く「消費者としての商品知識を身につける」というテーマで、フィルムはスーパーマーケットのあり方、講師は食生活推進委員、溝口外美子先生の「我が家はどんなお金の使

方をすればよいか」など、衣食住について家庭での実例をあげて力強い言葉の数々に六十名の聴講生は、熱心にテキストを見入っていました。第二回は「幼少期の扱い方と家族の...」についてフィルム

は、心を育てる子どもの遊び、講師は富山女子短大、小芝隆先生、年令は三十代～四十代が多く、聴講生七十名、幼児にとつて家庭とはどんな場所か、幼児が家庭の中で身に付けるものは何か、家庭の躰など声高く話され講師を囲んだる質問、話合いなどつきず、学習評価は高く、参加してよかったの声があちこちで聞かされ、時間の過ぎるのを惜しみながら盛会のうちに終った。

これより私達は、婦人学級、若妻教室、各種のグループサークルなど、さまざまな機会を利用して学習計画の立案と展開、視聴覚教材の利用、話し合いの方法、広報、野外活動などをふまえ、うるおいのある豊かな家庭のご理解のもとに、婦人として母として、みなさんと共に楽しい仲間づくりをしながら、現代生活に適應した生涯教育を身につけていきたいと思っております。

婦人会のあゆみ

婦人会長 田村 一子

昭和五十二年激動の半世紀を経過しました。こちらで私達は自分を、婦人会を、素直に真剣に見直す必要はないでしょうか。世の中が多様化し、スピード化すれば、するほど自分を見失いがちになる現在です。今地域

社会で不足しているのは何でしょうか。家族間は、となり近所は、人と人とのコミュニケーションは、人と心のふれ合いは、と色々考えさせられます。私達南山見婦人会では今年度「くらしの新しい方向を求めて、地域活動をすすめてまいりよう」というテーマのもとに①近代社会に対応する婦人として自主的学習を進めまいりよう。②経済感覚を高め、物価安定の実践活動に努めまいりよう。③地域の課題と取りくみ各地域婦人団体と情報交換し文化の交流と組織の強化を図りまいりよう。以上三つを申し合せ。学習活動や、奉仕活動と力強く歩んでおられる皆さんにはいつも敬意を持っております。私はこの歌が好きです。一人の小さな手、何も出来ないけれど、それでもみんなの手と手を合せば何かが出来来る。何かが出来来る。一人の人間は弱いけれど皆さんが集まれば大きな力が出るのです。出来るだけ多くの仲間と手を取り合い改善し進歩して行かねばなりません。人間性豊かな家庭、社会の実現をめざし心と心の触れあいで婦人の役割をおおいに發揮していきたいものです。

事業計画

- 四月 緑化運動、美化運動に協力
- 五月 婦人検診に協力
- 六月 しょうぶ祭りに協力

- 六月 水道見学、環境衛生に協力(薬剤散布)
- 七月 慰安旅行、公民館登山に参加、校下ドッチボール大会、木彫音頭町流しに協力
- 八月 盆踊り大会、敬老会、農繁期の保存食講習、廃品回収
- 十月 体育祭、親子の集いに参加、手芸講習
- 十一月 成人病検診、郡意見発表に参加、文化祭(井波連合)
- 十二月 生花、料理教室(支部別) 歳末助け合い募金成人式に参加、政治学習
- 二月 追悼会、講演会
- 三月 総会、反省会

夏休み 児童クラブの活躍

児童クラブ育成会々長

岩崎 宗夫

南山見地区には約百七拾名位の児童が居る。
未来の地域社会を作る児童が将来良き社会人として健康で明るい人柄で社会へ巣立った時の栄養の一部になる様に育成する事が私達児童クラブ育成会の仕事だと考え今年も次の様な行事実行致して居ります。

- 一、早朝歩こう会実施

- 二、公民館と共に上高地へ親子歩こう会に参加
- 三、ラジオ体操の講習会を実施、以後各地区毎に行つて
- 四、井波町児童会野球大会に参加(十二チーム中三位に入賞)
- 五、野外活動としてキャンプ大会
- 六、ドッチボール大会
- 七、写生大会(石川県々民公園)
- 八、井波町児童大会に参加
- 九、親子ソフトボール大会
- 十、卓球親子大会
- 十一、クリスマス親子の集い
- 十二、卓球大会及びカルタ会

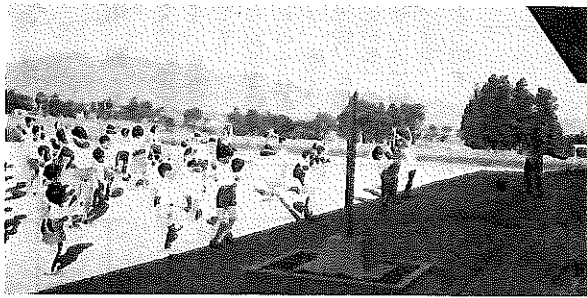
上高地ハイキング

朝倉 一夫

七月二十四日、校下町民待望の上高地行きの鳥。懸念された天候も上々。早朝から集まって来られた皆さんの顔もいたって明るい、五時、二台のバスに分乗。

農協支所前を出発。間もなく砺波インター着、高速道路から見下す砺波散居村の朝の眺望もまた格別、暫くにして富山市にバスは国道四十一号線を一路南進、神通峡が右に見えはじめる六時、神通第二発電所ダム広場で小憩、神岡町から高原川沿いに万緑の山深き平湯に到着。やがて山々の樹々もブナから白樺岳樺(タケカンバ)に変わり、ホタルブクロや瑠璃虎の尾等、色鮮かな草花が咲き続く……。

一八二米の安房峠を越え、アピソナルのを下り、中の湯から釜トンネルの急坂を抜けると左手真上に荒廃した焼岳が見え次いで大正池(大正四年焼岳噴火により生る)。田代池が見えるカラ松やナナカマドの博紅葉が鮮か。九時三十分、いよいよ上高地バスターミナルに到着。二五〇〇米の高原とはいえ、右も左も人の波、真向いに穂高の山並が屹立する。



早朝来の疲れも見せず元気一ぱいの南山見勢、少しも休まず明神池を目指し河童橋を渡りどどんと歩く、右に流れる梓川は清流そのもの、手を浸すと凍る様に冷い。カラ松、コマツガ春楡、深山桜等の樹林が続き、時折ホーホケキョと老鶯が鳴く樹林を吹きぬける風が涼しい。梓川支流の水に岩魚も多い。十一時頃明神池に到着、穂高神社に参拝、紺碧の池水、静寂の樹林は、雪舟の絵の様にすばらしい。涼しい樹林での昼食が美味しい。久々に顔を合せる地区皆さんの語らひがまた楽しそう。ふと見ると池面に珍しく鴨が浮いていた。疲れを癒した一行は明神池をあとに吊橋を渡り、梓川の左岸を下る。高原の涼風に足どりも軽く、再び河童橋附近に戻り散策、それぞれ高原の夏を満喫。十四時皆元気でバスに乗り懐しい上高地をあとにする。帰りの車中では御神酒もまわり、バスガイド嬢に負けない皆さんの十八番美声が次々に披露され、楽しく賑やかなムードが一ぱい。十八時バスはいよいよ古里南山見に到着。思い出の多い体力作りの一日が終った。

「カラ松の林を出でてカラ松の林に入りぬカラ松の林に入りてまた細き道は続けり……」

地区公民館建設にあたり

町議文教厚生委員 須川利夫

校下の皆さん多年の願望であった、南山見校下公民館がいよいよ、今秋建てられることとなりました。公民館は校下の地域の皆さんが、楽しく、学び共に憩の場として、利用していただく民主的な社会教育機関であります。

青年、若妻、婦人、乳幼児、家庭教育高令者学級講演会、講習会等の開催をなし、基本的人間性を形成する、又豊かな人間性を形成するため生花、茶道、謡曲尺八、着付、料理、囲碁、将棋、俳句、

短歌等の趣味の会の開催、又広い空地を整備しスポーツのグラウンドを一日も早く造成し健やかな体力作りをなす。

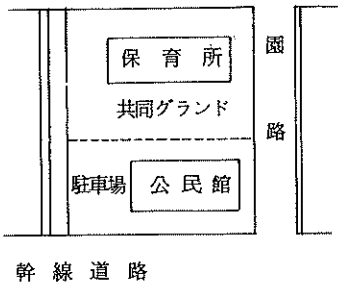
只校下の皆さんにこの様な建物を建築されても公民館活動をなすにはそれぞれ各室内の備品(机、テーブル、椅子、黒板、ガスコンロ、流し台、調理台、その他応接セット、テレビ又教育資材等)の備え付けをしなければなりませんので皆さんの御協力をお願い申し上げます。

尚、建設平面図は次のとおりです。

概要

所在地 井波町川原崎
(保育所敷地内)
竣工予定 昭和53年2月
総工事費 4,000万円 国、県、町
敷地規模 1,200.00㎡
鉄骨、平家建
床面積 408.80㎡

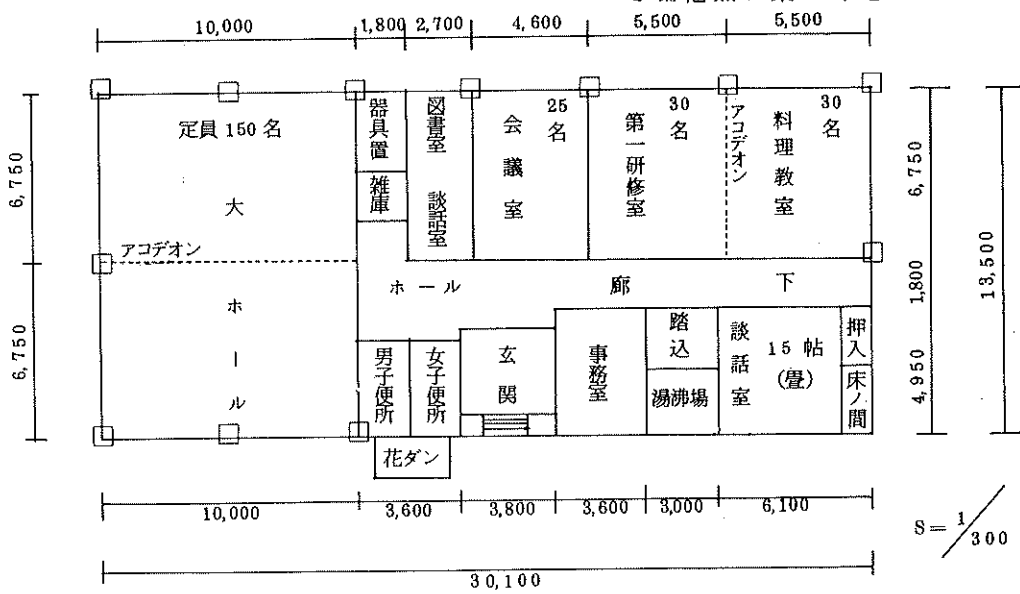
所在地図面



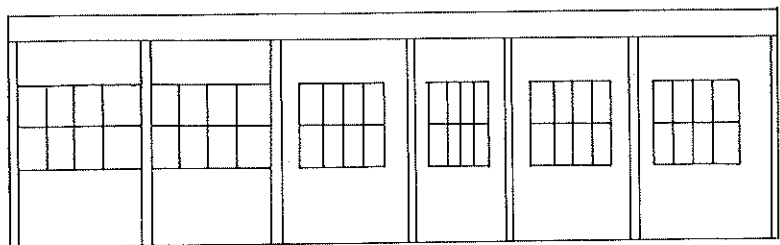
各室面積

玄関	12,540㎡
ホール	24,213
廊下	22,195
事務室	19,178
踏込	7,371
談話室	30,821
湯沸室	6,684
料理教室	38,273
第1研修室	35,843
会議室	33,002
図書室	18,054
器具置場	7,128
雑庫	3,582
大ホール	134,798
便所	15,124
床面合計	408,806㎡

平面図



立面図



才三二回戦没者追悼法要営みに当り

南山見忠魂碑維持会々々長

前川 敬三

ことしもお盆を迎えて、お互いに祖先をしのんで心静かに、そのめい福を念ずると共に家族の幸福を願う大切な行事であります。又私なりに考えると日頃自分自身の仕事の反省の日でもあり、善悪の自戒をすべき日でもあります。

想いを昭和二十年八月に、六日は広島、九日は長崎とあい続いて、原子爆弾の投下という大量殺力によって、核戦争の幕が切り落され、それからすでに三十二年目の忌まわしい、記憶の日がやってきた。

今年も、幸いに平和を願う集い、統一世界大会が開幕。犠牲者二十数万を悼み、核廃絶と永遠の平和を祈る法要三十三回忌の行事が相ついた。

私達は、とりもなおさず一人一人が、広島や長崎の血の叫びを、自分自身のことと受けとめ恒久平和の実現に戦争の知らない世代、子供に実情を語り伝えることを責務であろう。

毎年、八月十五日午前九時より、忠魂碑前にて戦没者五十六柱英霊に対しまして、心からこめい福を祈り、追悼法要を相営みます。

老人クラブ

南山見老人クラブ会舎

武田 久太郎

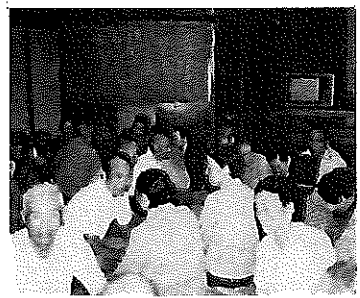
先ず一服してからやるうでは遅過ぎる、日が暮れてしまふ。思い直してやるうとしても、仲間何も出来ない。こりゃこんなでなかつた筈だが、あれでもなかつた一人言いつているのが昔の事ばかり、そして過去を憶い昔話に花を咲かせておるのが老人の私共である。

今それを思い起すと、爺さん婆さんにやかましく教えられて来た事ばかりであると、つくづく思い、如何に温みのある生活であったなあ、と回顧するのである。例えば昔は平日頃お金なんかめつたに貰えたものではない。貰えた時は、さあ貯金しておいて学校の遠足に、間に合わせてやると云うて、お金の顔を見ただけ、時たま貰ったお菓子とても、餡一口、せんべい一枚それを兄弟で分け合つて、わが俵をこらえたものである。

そんな事が承け伝つて、今の越中人の忍耐力、勤勉家とたたえられているのも、その恩恵であると思う。此頃失業者の多い



最後にになりましたが本会記録は昭和二年(三十二年)まで終戦直後は焼去。終戦の想いの原点に核兵器の廃絶と永遠の平和を祈る。



理解と御協力を望みます。以上思い付きの一端をのべましたが、どうかこの気候な老翁を、良き様に御指導賜わります様、切にお願いする次第であります。

ママさんバレー

全国大会に出場

直江喜美代

昭和四十四年にチームが結成されて以来、チームの長年の夢であった優勝。県予選の決勝戦で最後に優勝を決めた瞬間、青春を取り戻した様な、さわやかな喜びが湧いてきました。学生時代にも二度経験はあります。学生が、それとは違った八年間の想いが一度に涙となって止めどなく溢れてきたのです。

時でも、富山県人は引張り風で社会の信用を得ているのも、みな故人の尊い教訓であると、感謝せねばならないのでしょうか。わが老人クラブの前身は、故松田栄松さんの発起で昭和六年追奥会として発足し、同三十八年南山見老人クラブに結成替となり、翌年に井波町老人連合クラブが誕生し今日に至っているのである。昨年は当局の御尽力により高令者学級を開設して頂き講習会、御法話、体力増進の体操、レクリエーション、又郷土史を受講し史跡巡りなど、大きな成果を得たので、茲に深く感謝申し上げます。

尚本年も続いてこの学級を開いて下さることで、学習の主題は健康と安全、仲間づくり、家庭に於ける老人の役割、生活と宗教など、意義深い計画がなされていきますので、会員各位の御

出発、列車を間違えるパパニ

ングもありましたが、とうとう東京に着きました。すぐ練習会場に向かうと、全国各地からやって来た精鋭ばかりが所狭しと練習しています。元オリンピック候補、実業団等で若い頃活躍した選手もたくさん出場している。取けてはいられません。頑張りなくちゃ!!

開会式、どのチームも思い思いのユニホームでさっそうと行進。私は幸いにも、チーム一丈が低いので先頭でプラカードを持っての入場、とても感激でした。

いよいよ試合、ミーティングを済ませると早々に就寝。「ピ―」笛がなるとチーム全体に緊張感が漂います。井の中の……で大会の雰囲気呑まれてしまつて、県代表になった時の様な力量を發揮できず、無念にも予選リーグは三敗しました。次の日、決勝リーグは若手代表と同格の試合運びでしたが、運命の女神は笑えまなかつた。でも前日の様な敗れ方ではなく納得のいく結果であり、悔いはなかつた。今回の全国大会に出場して印象深いのは六十一才のおばあちゃん選手の活躍振り、オリンピック選手と握手ができ金メダルに触れた事です。最後に紙面を借りて、御世話になった皆様に感謝し御礼申し上げます。

「頑張る」 母親クラブ

前川 昭子

母親クラブの活動は、国が昭和四十八年度から奨励する様になり現在までに全国で二千クラブに達しております。母親クラブは、戦後の混乱期に子供の幸せを願うお母さん達の集まりとして生まれ、当地八乙女山を背景に恵まれた環境の中に昭和二十八年南山見母親クラブが結成されました。申すまでもなく、次代を担う児童が心身共に健康で文化的な生活が送れる様に望むことは私たち母親すべての願ひでございます。

経済の高度成長に伴い児童をとりまく諸問題も年を追うごとに多様化し、その対策についても、つねに新しさが求められる現代社会において母親自身の子供に対するあり方も見直さなければいけない。会員ほとんどが勤めを持つたり農業経営で多忙であり日頃から、親子の交流が不足しがちであります。

このため活動も児童クラブと合流した形で行われる親子活動に主力が注がれています。夏休み中の朝のラジオ体操の指導、水泳大会、球大会、社

会見学、写生大会、冬には、クリスマスパーティが予定されておりあります。

又、各単位へ活動費を配布し単位ごとにキャンプ、パーベキユ―等、幅広く活躍しております。子供たちのこぼれる様な笑い声、純粋な心を包容力と余裕信念と熟意を持って使命感、奉仕、公平に私たち母親は健全で自信を持って子供の育成にはげんで行きたいと願っております。

「カーチャン酪農二十年」 全国家の光大会に参加

田村 一子

去る豪雪の二月四日、全国家の光大会が、九州の福岡で全国農協組織代表二二〇〇名が参加して開催され、体験発表や記念講演そして九州の郷土芸能など盛況に行われました。

私は「カーチャン酪農二〇年」と題して体験発表に出場させていただきました。前日に全国四〇都道府県の代表による予選があり、いずれも厳しい農村、農業を取りまく諸情勢の中で個人、そしてグループで独自の方向を出して官農の拡大と生活の安定を図った例、地方自治体に働

きかけて地域社会の生活条件を整えていった例、住宅地の中の都市農業の悩みを解決する糸口を家の光に見出した例など、具体的な中に感動際の内容でいっぱいでした。

そんな中で私が思いがけなく六人の予選の中に入る事が出来晴れて全国農協中央会長賞をいただく事になり、私の生涯に取って忘れぬ日となりました。

大会に参加して改めて農業組織の偉大さ、農業をして来て良かった、又家の光は農家の教育誌であり農村の隅々までいき渡る時、もっともっと明るい住み良い農村が生まれるのではないかと痛感しました。そして努力があれば私達農業者にもきつと明るいあしたのある事を信じて今日も農業に生きる私です。



編集後記

公民館広報活動の中で館報の発行は重要かつ意義のあるものである事は分かってきているのであるが、なかなか取り組めない所が大きな課題でなからうか。幸いにして今回、南山見公民館報「八乙女」を発行する迄に至った事は公民館活動の成果であるうと念ずる。各種団体の方々から多くの御投稿をいただき今回は、各団体の活動に焦点をあてて見ました。紙面の都合で要点のみにした所もあり、御協力を願った方々の真意が正しく伝わらない面もあるうかと思われまふ。予めお詫びとおことわりを申し上げます。

尚、今年度内に再度発行する予定ですので地区住民の御投稿をお待ちしております。
原稿は十五字二十行の三百字詰め二―三枚程度でお願いします。投稿先は、井波町南山見公民館、公民館報「八乙女」編集係宛。